

教材活用シリーズ 第 159 回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介いたします。

漢字学習は楽しく！ おもしろく！

(株)秀学社
『くりかえし漢字』



(株)秀学社
編集部 国語担当

令和 3 年に全面改訂を行った、弊社の漢字教材『くりかえし漢字』は、「イメージしながら書いて覚える漢字帳」をコンセプトに大きくリニューアルした教材です。現状、生徒にとつての漢字練習は、新出漢字をひたすらノートに書き写す、言わば手の運動になりがちなものです。また「やらされている感」によって苦手意識が増幅したり、漢字嫌いになってしまったりすることも多々あります。そこで、リニューアルした『くりかえし漢字』では、漢字を使用する場面を理解できる例文と、わかりやすいイラストを見ながら漢字を練習することで、中学生

に効率よく、楽しく、おもしろく漢字を覚えてもらうことをねらいとしています。では、次の項から本書のポイントを具体的に紹介したいと思います。

1. 実の場で使うイメージが湧く

例文とイラスト

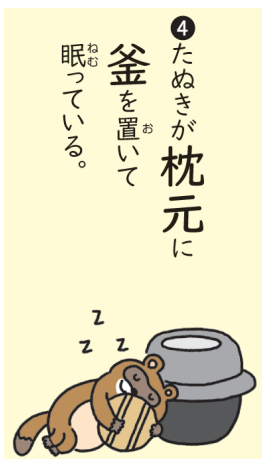
漢字を何度も書いて練習し、「形」として覚えることができたとしても、実際に使うことができなければ意味がありません。一人一台タブレット端末が配備されたことで以前よりも紙

に漢字を書く場面は減ったかもしれませんが、高校入試がまだ筆記試験であることを考えると、漢字をしっかりと書けた上で正しく使いこなす力は当然必要となってきます。

この力を育てるための新たな工夫として、新出漢字が組み込まれた例文と、その例文の場面をイメージできるイラストを配置しました。意味をつかみにくい漢字でも、この例文を読むことで漢字や言葉の使い方を知ることができま

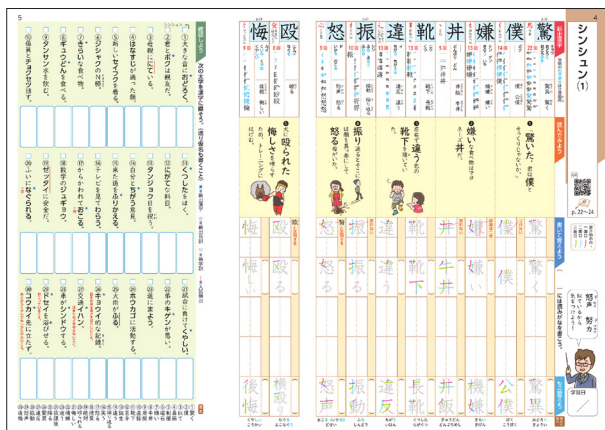
す。さらに、例文に沿ったイラストを見ることでより一層漢字を使用する場面がイメージしやすくなり、漢字が生きた知識として定着しやすくなります。また、例文は従来の教材で用いられてきた硬めの文章ではなく、中学生が身近に感じやすいようなおもしろさを重視して作成しています。この例文とイラストを見ながら、楽しく、おもしろく学習してもらいたいと考えています。

▼例文とイラストの例



2. 漢字が自然に身につく四つのステップ

リニューアルした本書では、効率よくスムーズに漢字が身につけられるよう、生徒の思考の流れに沿った四つのステップを設定しました。



▲誌面

ステップ1……………「新出漢字を見る」

新出漢字表を見て漢字を覚えます。漢字表には音・訓読み、部首、用例など非常に多くの要素が詰め込まれています。それらを見やすくするためにカラーユニバーサルに配慮して作成をしました。また、筆順も二十画分掲載し、手を動かすときに細かく確認できるようにしています。

ステップ2……………「イメージしながら読む」

前項で説明したように、漢字を使用する場面をイメージできる例文とイラストがあります。新出漢字を二つから三つ使用して、一文を作成しています。

ステップ3……………「漢字を書く」

漢字を書いて覚えます。なぞり書きも含め

て、全部で六回くりかえし書いて練習できます。また、書くときに注意したいポイントや書き間違えやすい漢字も示しているので、意識しながら練習することができます。

ステップ4……………「確認する」

ここまでの三つのステップを経て、学習した漢字がしっかりと身についたかを確認します。ここではわかりにくい言葉には意味を併記したり、入試頻出語句に一線を引いたりなど、言葉をしつかり理解し、入試にも役立てることができるよう工夫をしています。

3. 思考力・判断力・表現力が育つ

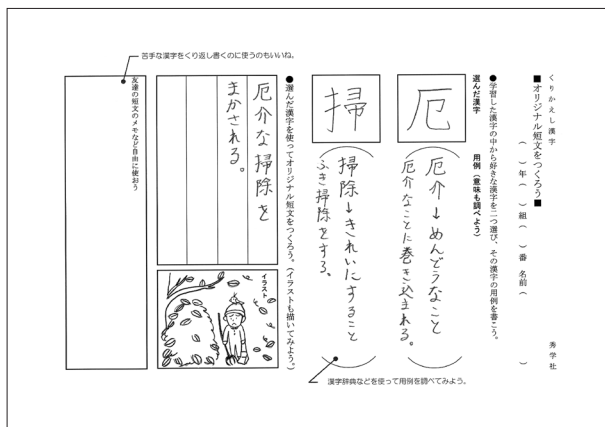
新しい形のワークシート

この項では、「オリジナル例文を作るワークシート」を紹介します。このシートは、本書を実際に使用する中学生が、本書の特長である例文とイラスト作りに取り組みることができるものです。本書内の文章も硬いものにしていないことから、文章を考えることが苦手な生徒の抵抗感も低減できると考えます。

使い方としては、まず、本書で学習した漢字のなかから漢字を二つ選び、選んだ漢字の意味や用例を考えたり調べたりして記入します。

そして、記入したことを基に、オリジナルの例文を考えていきます。さらにイラストも描くと、より本誌の例文に近い形になります。

例文ができたなら、生徒同士での交流活動にも使っていただけます。自分で作った文を紹介し、共有することで学習が一段深いものになると考えています。



▲実際の中学生の作例

これまでに本書の付録として提供してきたワークシートは、漢字が身についたか確認するための小テストや漢字をくりかえし書くための練習プリントなど、知識をつけるため、または定着度を確認するために使用するものがほとんどでした。本項で紹介した、「オリジナル例文を作るワークシート」は、学習した漢字がしっかりと身についているか、使いこなせるかを確認した上で、思考力・判断力・表現力も育むことができる、漢字教材としては珍しい新しい形のワークシートになっています。

以上のように、従来の漢字学習を見直し、随所に工夫を凝らしました。本書を使う中学生の学習が、少しでも楽しいものになることを願っています。